



SESERAGI-MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー
RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY 心の中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳
副会長 太田政人 幹事 山田定男

第1092回 例会
2012.6.10

司会:久保栄子君 指揮:石井和郎君
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住理中央町ビル2F
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352
<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>
せせらぎ三島ロータリークラブ 検索
例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 渡邊照芳君



山本良一君は東京の建設会社において不動産管理、企画、販売を8年余経験し、昭和59年に三島へ戻り現在の会社に入社、昭和62年社長就任、三島南RC入会は平成2年1月5日、チャーターメンバーで

は有りませんでしたが、チャーターナイトには参加する事が出来ました。

RCでの職業分類は「道路建設」になっていますが、日本標準産業分類ですと総合建設業の「一般土木建築工業及び舗装工事業」に該当します。

社歴は大正7年総業、昭和24年創立、祖父、父、に続き3代目になります。日本国内の景気、人口減少、円高による企業の海外移転などで、多くの業界が厳しい状況の中、建設業界におきましても工事量がピーク時の半減となり、公共事業が多い会社に摂り如何に受注を確保するのか戦いの日々です。

土木工事は現在、東駿河湾環状道路の東大場団地の南側に位置する、国土交通省発注の「大場北工区」にて高架道路の橋脚工事、函南町塚本にて静岡県発注の東駿河湾環状道路が高架から下がり、伊豆中央道路との合流個所にて工事を施工しております。これらの工事の完成は平成25年度末、ですので約2年後には国道1号線塚原より直接伊豆中央道に入る事が出来、通行時間が大幅に短縮されます。

道路工事におきましては、ガス管理設工事、NTT管路工事、舗装工事と道路での作業が多く、交通量が多い道路では夜間工事となり、通行する車両や住民の皆様にご迷惑を掛ける仕事になります。

建築工事におきましては、静岡県東部家畜保健衛生所建築工事、県営光が丘団地13号棟全面的改善工事（住宅リニューアル工事）、NTTドコモ鉄塔基礎工事3カ所等を“無事故無災害”の中で進めております。

伊豆縦貫道路が全面開通いたしますと地域の交通が便利に成り、かなりの時間短縮が図られます。また、県営光が丘団地13号棟全面的改修工事が完成しますと、入居された方は今まで以上に快適に住むことができます。「まだまだ、当地域の社会資本整備は必要であり、地域の方が安全で安心な生活が出来る環境を整備していくことは必要不可欠です。」と、山本君は力説していました。

益々のご活躍をお祈りいたします。

出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	28/34	82.35%	32/34	94.12%
今回	28/34	82.35%	会員総数	35名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

大房君、小林君、杉山(順)君、杉山(隆)君、山本(章)君、山本(良)君

おめでとう

会員誕生日 6月4日 矢岸克行君
入会記念日 6月6日 望月保延君

幹事報告

幹事 山田定男君

1. 例会変更

三島RC 6月27日(水)
さよなら例会 リオ
三島西RC 6月28日(木)
サヨナラ例会 はなぶさ旅館
伊豆中央RC 6月26日(火)
新旧役員交代会 大仁洋行パーク

卓話

兼子悦三君

今回で22回目の卓話ですが、2～3日前まで話すことが決まりませんでした。次期会長にそろそろ卓話を卒業させてくださいと話をしたところ、来年からは若い人を中心にするから来年度は卓話がないとの事でした。今日が最後の卓話だと思っています。

今考えると最初の頃の卓話の楽しさから、卓話の話を創り出す苦悩に変化するということは、やはり年を取り老いて行くのだとつくづく感じました。人間誰でも平等に年を取って行く訳ですが、なかなか自分が老いて行くのは分かりません。

最近、私も人生76年を振り返り、自分の生きた人生を考えています。この世に生まれて10年ぐらいはこれといった記憶もなく小学生時代わずかな記憶、特に戦時中という時代の中で戦争の記憶だけが少し残っています。中学時代年齢的に15歳ぐらいの時、大きな環境の変化があり、多くの友人たちと別れて愛知県から父母の生まれた静岡に移り住んだということです。20歳代では大学生として苦労もありましたが、一番楽しい年代だと今でも覚えています。25歳前後は本当の社会人として世の中に出て責任感を背負う人生の岐路、そして30歳ごろは結婚による新しい人生と責任感、そして浮き沈みの激しい10年間。そしてようやく企業の安定を迎えた40代。と同時に身体を悪くした40歳代。そして鼻高くなった50歳代。企業の拡大、資産の拡大、そして前のみを見て突き進んで周りが見えなくなった時代。ちょうどその頃バブルがはじけて無駄な財産を持ってしまった時代。この様に私の人生はあの時こうしておけば良かったなと思うことが山ほどある訳です。

どうして人生はこんなに変化に富んだものだろうとつくづく感じます。こんなに急いで何かをしなくてもいいものと思いますが、その動機は「老い」でした。人間、自分では感じないのですが、20代、30代、40代、50代と年を重ねるごとに無意識の中で時間の存在を考えている訳です。そして残り少なくなった時期を大切にしようと思っても、毎日それはなくなって、過ぎ行く時です。子供の頃いろいろな事をして遊びながら過ごした一日の満ち足りて長かった時間。それに比べて今ではその日さしたる仕事もしないのになんと早く過ぎてしまう一日だろうとつくづく思います。

私の人生の中でロータリーに入会させていただいたことが心の栄養というか、安らぎというか、財産になった訳です。ロータリーは誰でも平等、年齢の差もありません。ロータリーは職業を通じて社会に奉仕する。これはロータリー創立当時からの基本的哲学であります。創立者のロバート・テイラーが世界恐慌の中で具現化したのが、この職業奉仕思想です。その時出来たのが「四つのテスト」です。言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなの為になるかどうか

この四つのテストは是非若いロータリアンが頭の中に入れていただきたい哲学です。

せせらぎ三島ロータリーもまもなく創立25周年を迎えます。4分の1世紀になる訳ですので、若い後輩たちがますます勉強してロータリーの哲学を頭の中に入れて自分の会社を立派なものにして下さい。

クラブの中では先輩も後輩も分け隔てなく友情をはぐくんできただけを祈念して卓話を終わらせていただきます。



スマイルボックス

内田憲一君: 毎月、月初めに隣組の定会があるため早退します。今年は苗から作って田植えを4日にやります。毎日昼食をとった後田んぼの見回りに行くのが日課になりました。心地よい疲れがとても良いです。

久保栄子君: 先週お休みして申し訳ございませんでした。三島ロータリーにメイキャップしてきました。他クラブに出向く事もとても新鮮で良かったです。

太田政人君: 今日6月1日は西伊豆仁科川の鮎釣り解禁日です。早速行ってきました。結果は5匹。ダメでした。

兼子悦三君: 本日は私の卓話です。多分楽しい話ではないので、スマイルします。興味なければ目を閉じて休んで下さい。

